

職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和 7 年 11 月
放課後等デイサービス おとのわ

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」または「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で「事業所が工夫していると思う点」や「いいえ」回答に対しては「改善が必要だと思われる点」について記入してください。

内容	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切か。	○			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置等は適切であるか。	○			
	3 生活空間は子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また事業所の設備は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4 職員の配置数は適当か。	○			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるために、目標設定と振り返りに広く職員が参画しているか。	○			
	7 保護者アンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。		○		
	10 職員の資質向上を行うために、研修を受講する機会や社内研修を開催する機会が確保されているか。	○			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。	○			
	13 個別支援計画書を作成する際には、児発管だけではなく全職員の共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 個別支援計画書が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			

内容		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16	個別支援計画書には放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・個々に応じたプランを全体で考えて、成功体験から自信に繋げていけるようプラン立てをしている。	
	18	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか。	○			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画書を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・職員の配置も固定せず、その日に合わせて変化を加えている。	
	21	支援終了後には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			・振り返り前に退勤となるので、その日の反省点や気付いた点が理解不足などところがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスのガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
関係機関	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・工作の活動では、色や形、大きさ等、自分で選べるよう、様々な種類を準備している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・各ご家庭や学校からの申し送りを、全職員で共有できるようボードを準備している。	
関係機関	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			

内容	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
や保護者との連携	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○		・18歳卒業者なし
	31 地域の児童発達センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活する機会があるか。	○		・初めての試みで、地域の方々と の交流で夏祭りを行い、初めての 方とのコミュニケーションを取る事 ができた。	
	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	36 運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際は、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38 個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	○			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40 保護者会等を開催する等、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会を実施して、保護者さんにも活動道具に触れてもらったり、子どもたちの事について知識を高めたりすることができたと思う。	
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			

内容		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状態を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に蹴決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○			
満足度	55	不満や要望を気軽に話すことが出来るよう工夫している	○			
	56	年に一度以上、満足度を把握しているか	○			